

岩手銀行「グリーン預金」フレームワーク

はじめに

岩手銀行は、2019 年に持続可能な地域社会の実現への貢献を意図した「いわぎんグループ SDGs 宣言」を策定し、サステナビリティに係る取組みを展開してまいりました。2023 年 3 月には、向こう 10 年の長期ビジョン「お客さまの課題解決と地域社会の持続的成長を牽引する価値共創カンパニー」を定め、実現のためのマテリアリティの特定を実施しています。特定したマテリアリティのうち、成長分野の一つに「脱炭素社会実現に向けた先導的・革新的対応」を掲げ、環境対応に資するファイナンス支援や取引先の環境課題解決のほか、再エネ事業への参画などの活動に取り組んでいます。

1. グリーン預金の位置付け

(1) サステナビリティへの取組み

岩手銀行では、お客さまの環境・社会課題解決、脱炭素社会実現に向けたファイナンスを「サステナブルファイナンス」と位置付け、取組みを強化してまいりました。今回取扱いをする「グリーン預金」は岩手銀行のサステナビリティへの取組みにおいて、預金と融資をつなげる形で実践するものです。

(2) グリーン預金の概要

グリーン預金は、お客さまからお預かりする資金を、再生可能エネルギー分野におけるファイナンスに充当することで、お客さまに ESG/SDGs 分野での取組み機会を提供する預金です。

(3) 商品概要

- ① 募集対象：法人
- ② 最低預入額：1,000 万円以上
- ③ 預入期間：1 年
- ④ 適用利率：大口定期預金の店頭表示金利

2. グリーン預金の資金使途

(1) 充当予定の資金使途

本グリーン預金による調達資金は、以下の適格基準を満たすプロジェクト（適格プロジェクト）への新規および既存の融資案件に充当する予定です。調達資金の全部または一部を既存の融資案件に充当する場合、遡って 3 年以内に実行された融資案件を対象とします。

(2) 適格プロジェクト

カテゴリー	資金使途
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電（※1）、小規模水力発電事業向け設備融資 （太陽光、風力、水力発電に要する土地の購入、太陽光パネル、パワーコンディショナー、発電モニター、蓄電池等の関連設備等の購入・設置、保守・管理にかかる投資を含む） ※1 持続可能な原料または廃棄物由来のものに限る。

(3) ネガティブインパクト

岩手銀行では、サステナビリティ方針を踏まえ、環境・社会に対して負の影響を助長する可能性の高い、特定セクターへの融資を制限する方針を明確化しています。

3. 適格プロジェクトの評価と選定プロセス

(1) 環境面の目標

岩手銀行グループでは、地域の脱炭素社会実現に向けた先導的・革新的対応、グリーントランスフォーメーションを重点分野の一つとしており、サステナブルファイナンスの目標実行等累計額を「2021年度から2030年度までに5,000億円」と設定しました。

また、お客さまの脱炭素支援だけでなく、自らの脱炭素への取り組みも加速させるため、岩手銀行グループにおけるCO₂排出量（Scope1,2）削減目標を「2030年度までにネットゼロ」としました。目標達成に向けて、本店本館・別館では2023年4月より岩手県内水力発電由来のCO₂フリー電力を使用しています。今後も営業店でのCO₂フリー電力の使用や低年式車の入れ替え、高効率な空調への切り替え、設備の電化等の省エネ施策を実施していきます。

(2) グリーン預金の資金使途の評価・選定のプロセス

資金使途の選定にあたっては、「いわぎんグループSDGs宣言」、岩手銀行グループのサステナビリティ方針を考慮し決定しました。対象案件の適合性の確認は、本件の所管部である営業戦略部および関連部署にて実施します。

4. 調達資金の管理方針

(1) 調達資金の管理方法

グリーン預金による調達資金の充当管理は営業戦略部が行います。本グリーン預金による調達資金総額、使途への充当済資金、未充当資金は、電子ファイルにて管理します。全ての調達資金が充当されるまでの間は、未充当額と充当額の合計が調達資金全額と整合するように管理し、これらの確認はグリーン預金から対象使途への資金充当があった都度実施します。全てのグリーン預金による調達資金が充当された後は、調達資金額が調達資金から使途へ充当された累計額と一致するよう、また、使途へ充当された累計額が預

金資金額を上回るように管理することとします。

(2) 未充当資金の運用方法

未充当金額が発生した場合には、現金または現金同等物、短期金融資産等で運用します。

5. レポーティング方針

(1) レポート方法

本グリーン預金による調達資金の使途に対する充当状況や環境改善効果等については、少なくとも1年に1回以上、岩手銀行のWEBサイトにて開示します。また、本グリーン預金による全ての調達資金が使途に充当された後においても、大きな状況の変化が生じた場合は適宜開示します。

(2) 開示内容

レポートには以下の内容を含む予定です。

開示項目	内容
充当状況	・ 充当したプロジェクトの内容 ・ グリーン預金残高 ・ 融資残高 ・ 未充当金額
環境改善効果	CO ₂ 排出削減（実績または見込み）量（t-CO ₂ ）

(3) レポーティング体制

年度レポートは、営業戦略部が主管して作成することとし、預金調達資金に関する情報収集・記載事項の確認、環境改善効果に関する情報収集・記載事項の確認を実施します。